

現代の真理シリーズ No.8

PRESENT TRUTH BOOKLET SERIES NO.8

4つの確かな大事実



現代の真理シリーズ No. 8

4つの確かな大事実

金城 重博

目次

Contents

第一の確かなこと一

あなたは死ぬように定められている …… 4

第二の確かなこと一

あなたはさばきを受けるように定められている
…………… 10

第三の確かなこと一

あなたは救われるように定められている 19

第四の確かなこと一

あなたは来たるべき王に会うように定められている
…………… 26

本当に確かなことがあるでしょうか？

人間がこれほど不安な時代に住んだことはかつてありません。この地球上の生命は極めて不安定です。人間も動物も脅えています。津波、地震、ハリケーンによりどれだけの人命が失われているでしょう。地球自体大いに狂ってきています。国際情勢は不安定です。テロ活動による不安は世界的に広がっています。冷戦後もどれほどの戦争が世界を恐怖と不安に陥れているのでしょうか。経済も不安定です。アメリカ金融危機は世界経済を非常に不安定にし、多くの企業倒産へと追い込み、失業者を生んでいます。政治家は将来を嘆いています。世界は非常に動揺しています。ガンや心臓病、脳卒中は多くの人の命、健康を不安定にしています。空、海、陸の事故は容赦なく楽しい家庭を破壊しています。すべては不安定です。確かなものは将来にない様に見えます。

若い者も、年老いた者も何か確かなことを探求しています。本当に確実なことがあるのでしょうか？

あるのです！本当に確かなことが4つあります。それは、確実な真理の書、聖書に見出すことができます。ヘブル書9章27、28節を読んでみましょう：

「そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることが、人間に定まっているように、キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた後、彼を待ち望んでいる人々に、罪を負うためではなしに二度目に現れて、救え与えられるのである。」



第一の確実なこと

・「一度だけ死ぬことと、



第二の確実なこと

・死んだ後さばきを受けることが人間に定まっているように、



第三の確実なこと

・キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた後、



第四の確実なこと

・彼を待ち望んでいる人々に、罪を負う(罪を処理する、詳訳聖書)ためではなしに二度目に現れて、救いを与えられるのである。

では、一つ一つ考えてみましょう：



1

第一の確かなこと—

あなたは死ぬように定められている。

「一度だけ死ぬことが…定まっている」

ルーテル「人生は絶えず、毎日死に向かって
いる旅である。生ける者は次々と墓場に人を運
ぶビジネスに携わっているにすぎない。我々の
すべては同じ道を一緒に旅しているのである」
と言いました。

平家物語の言葉は有名です：

ぎおんしょうじゃ
「祇園精舎の鐘の声
しよぎょうむじょう
諸行無常の響きあり
しやらそうじゆ
沙羅双樹の花の色
じょうしゃひつすいことわり
盛者必衰の理をあらわす
おごれる人も久しからず
ただ春の世の夢のごとし
たけき者も遂には滅びぬ
ひとえ
偏に風の前の塵に同じ」

祇園精舎の鐘の音には、諸行無常すなわちこの世のすべての現象は絶えず変化していくものだという響きがある。沙羅双樹の花の色は、どんなに勢いが盛んな者も必ず衰えるものであるという道理をあらわしている。世に栄え得意になっている者も、その栄えはずっとは続かず、春の夜の夢のようである。勢い盛んではげしい者も、結局は滅び去り、まるで風に吹き飛ばされる塵と同じようである。

● 死はすみやかにやって来る。

東洋の賢者ソロモンは次のように言いました：

「すべての人に臨むところは、みな同様である。正しい者にも正しくない者にも、善良な者にも悪い者にも、清い者にも汚れた者にも、犠牲をささげる者にも、犠牲をささげない者にも、その臨むところは同様である。善良な人も罪びとも異なることはない。誓いをなす者も、誓いをなすことを恐れる者も異なることはない。すべての人に同一に臨むのは、日の下に行われるすべての事のうちの悪事である。また人の心は悪に満ち、その生きている間は、狂気がその心のうちにあり、その後は死者のもとに行くのである。すべて生ける者に連なる者には望みがある。生ける犬は、死せるししにまさるからである。生きている者は死ぬべき事を知ってい

る。しかし死者は何事をも知らない、また、もはや報いを受けることもない。その記憶に残る事がらさえも、ついに忘れられる。その愛も、憎しみも、ねたみも、すでに消えうせて、彼らはもはや日の下に行われるすべての事に、永久にかかわることがない。あなたは行って、喜びをもってあなたのパンを食べ、楽しい心をもってあなたの酒を飲むがよい。神はすでに、あなたのわざをよみせられたからである」(伝道の書 9 章 2 ～ 7 節)。

詩篇に次のように書かれています。

「われらのよわいは七十年にすぎません。あるいは健やかであっても八十年でしょう。しかしその一生はただ、ほねおりと悩みであって、その過ぎゆくことは速く、われらは飛び去るのです」(詩篇 90 篇 10 節)。

「人は、そのよわいは草のごとく、その栄えは野の花にひとしい。風がその上を過ぎると、うせて跡なく、その場所にきいても、もはやそれを知らない」（詩篇 103 篇 15、16 節）。

● 死は誰をもかたよりみない。

死は、王も、乞食も、億万長者も、貧しい者も容赦しません。

● 死は個人の罪の刑罰として定められたのではなく、アダムの罪の結果として定められた。

聖書はアダムの罪の結果すべての人が死ぬ運命にあることを宣言しています：

「このようなわけで、ひとりの人によって、罪がこの世にはいり、また罪によって死がはいつてきたように、こうして、すべての人が罪を犯したので、死が全人類にはいりこんだのである」(ローマ人への手紙 5 章 12 ～ 15 節)。

「アダムにあってすべての人が死んでいる」(コリント人への第一の手紙 15 章 22 節)。



2

第二の確かなこと—
あなたはさばきを受けるように定められている。

「死んだ後さばきを受けることが人間に定まっている」という事実です。なぜでしょうか？

- 神の義は死んで後、さばきを要求する。

この地上においては潔白な人、義人がしば

しば苦しみ、罪人と悪人が栄えることがあります（伝道の書7章15節、詩篇73章1～16節、ヘブル人への手紙11章32～39節）。しかし、神は良いことをする者に報いを与え、神の義は悪しきことをする者に罰を要求なさっています（ローマ人への手紙2章6～9節）。

しかし、「悪しきわざに対する判決がすみやかに行われないうちに、人の子の心はもっぱら悪を行うことに傾いている」（伝道の書8章11節）と言っています。

この地上のどこで、あの忠実なヘテ人、ウリヤの潔白さが報いられるでしょうか？（彼は、王に妻を奪われ、戦場の前線に立たされ、殺されました）。

ネロとかヒットラーは、この地上において彼らの罪悪のためにさばきを受けたでしょうか？善人と悪人たちのさばきがなされずに報いを受けずにそのまま放置されてよいでしょうか？義なる神はもちろん、人間の良心もそれを許さな

いでしょう。さばきは必要でしょうか？神は正しいさばき主であります。正義は最後の決算の日を要求しています。すべては必ず正されるのです。

● **神の義はすべての人のさばきを要求する。**

「わたしたちはみな、神のさばきの座の前に立つのである」（ローマ人への手紙 14 章 10 節）と聖書は言っています。

「神は正しい者と悪い者とをさばかれる」（伝道の書 3 章 17 節）。

● **神の義は徹底的な裁きを要求している。**

行いはどうでしょう？—「神は、おのおのに、そのわざにしたがって報いられる」（ローマ人への手紙 2 章 6 節）。

言葉はどうでしょう？—「審判の日には、人はその語る無益な言葉に対して、言い開きをしなければならない」（マタイによる福音書 12 章 36 節）。

思いはどうでしょう？—「彼らの思いは互いに責め合ったり、また弁明し合ったりしていません。…神のさばきは、神がキリスト・イエスによって人々の隠れたことをさばかれる日に、行われるのです」（ローマ人への手紙 2 章 15, 16 節 [新改訳]、伝道の書 12 章 14 節）。

動機も免れません—「主は暗い中に隠れていることを明るみに出し、心の中で企てられていることを、あらわにされるであろう」（コリント人への第一の手紙 4 章 5 節）。

神は銀行強盗や姦淫を犯した者をさばくばかりでなく、もし機会があったならこれらのことをやるはずの人たちをもさばかれるのです。

● **神の義は永遠不変の律法に基づいてさばきを要求する。**

神ご自身の性質が義であります。神は気ままなさばき方をなさいません。義と聖なる律法によってさばかれるのです。律法はひいきせず、人をかたよりみません。(ローマ人への手紙 2 章 11 ~ 14 節、ヤコブの手紙 2 章 10 ~ 12 節)

律法は霊的なものであり、心の奥深いところまで見分けることができます。(ローマ人への手紙 7 章 14 節、ヘブル人への手紙 4 章 12 節)

律法はすべての好ましからざる欲望を罪に定めます。(ローマ人への手紙 7 章 7 節、マタイによる福音書 5 章 28 節)

律法は何物にもまさって神を愛し、他人を愛することを要求します。(マタイによる福音書 22 章 37 ~ 39 節)

それは律法を行う人以外にだれをも義と認めません。(ローマ人への手紙 2 章 13 節)

常に律法を行う人、すべての律法を行う人のみを義とするのです(詩篇 106 篇 3 節)。「律法をことごとく守ったとしても、その一つの点にでも落ち度があれば、全体を犯したことになるからである」(ヤコブの手紙 2 章 10 節)。

たとえば、もし人が 50% だけ正直だとしたら、本当に正直といえるでしょうか？ 90% 正直だったとしても全く正直でしょうか？ 彼がすべての状況において、100% 正直でなければ正直とはいえません。だからイエスは言われました。「天の父が完全であられるように、完全でありなさい」と。(マタイによる福音書 5 章 48 節)

律法のすべてに、常に、完全に従うことに不足すれば罪です。

● 神の義はどんな罪人であっても刑罰を要求する。

「罪の支払う報酬は死である」からです。
(ローマ人への手紙 6 章 23 節)

「火と硫黄の燃えている池が、彼らの受くべき報いである。これが第二の死である」と書いてあります。(黙示録 21 章 8 節)

● 質問

- あなたは常に、すべてのことにおいて、神をはじめとし、最後として神を愛していますか？
- あなたはすべての状況にあって自分のように他人を愛しますか？
- あなたのすべて隠れた傾向は十戒と調和していますか？
- すなわち、忠義、誠実、崇敬、聖潔、十戒を敬う、生命の尊重、純潔、真実、満

足する生き方をしているでしょうか。

- もし、あなたが今死ねば、あなたの生涯はさばきのテストに耐えられるでしょうか？

聖書記者たちは次のように叫んでいるのです。

「わざわざいなるかな、わたしは滅びるばかりだ。わたしは汚れた唇の者で…」(イザヤ書 6 章 5 節)。

「われわれの正しい行いは、ことごとく汚れた衣のようである」(イザヤ書 64 章 6 節)。

「あなたのしもべのさばきにたずさわらないでください。生ける者はひとりもみ前に義とされないからです」(詩篇 143 篇 2 節)

「すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっており」（ローマ人への手紙 3 章 23 節）。

あなたの生涯を神の義の標準に照らして、このように感じていますか？

もしそうであるならば、すばらしいニュースがあります!!!





3

第三の確かなこと—
あなたは救われるように定められて
いる。

愛の神は、すべての人を救うように計画されました。

「キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた。」

使徒パウロは、こう言いました：

「神はわたしたちを怒りにあわせるように定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによって救を得るように定められたのである」(テサロニケ人への第一の手紙 5 章 9、10 節)。

われわれは神の義がどんなことを要求するかを学びました。我々は次の二つの条件を満たすことができません。だから、神の前に義となることはできないはずです。救われる見込みはないはずです。

- ① 聖なる行為と思いの生涯によって、律法の要求を満たすこと。
- ② 罪の値を十分に支払うことによって律法の要求を満たすこと。

しかし、神は恐るべきほど義であられると同時に、無限の憐れみに満ちておられます。今ま

で学んできたように、われわれは全く罪にうちひしがれ、罪によって不具になっており、さばきの座の前に、立つにふさわしい義をもっていません。そこで神は愛とあわれみに動かされて、神ご自身が我々の救いのために、働かれたのです。ご自身のみ子を通して神がこの地上に来られ、律法の前に我々にかわって立たれたのです。我々の身代わりとして、イエス・キリストは我々のために律法の要求を満たしたのです。(ガラテヤ人への手紙 4:4)

キリストだけが上記の二つの条件を満たしました。それは、我々のためです。

- ① 彼の全く罪のない生涯によって我々のために律法の要求を満たした。(ヨハネ 15:10、マタイによる福音書 5:17)
- ② 十字架の死によって我々の罪の価を払って下さった。それによって我々のために律法の要求を満たして下さった。

それから彼が復活して、神のみ座に昇天され、我々のために神の義の前にキリストの完全さを提供なさったのです（ヘブル人への手紙 2:10、8:1-3、ローマ人への手紙 8:34、ヨハネの第一の手紙 2:1）。

● 救いは無償で、すべての人のために提供された。

誰も罪の本当の価である第二の死を苦しむようには定められてはいません（ヘブル人への手紙 9:27）。それは、「悪魔とその使いたちとのために用意されている永遠の火」（マタイによる福音書 25:41）と聖書に書いてあります。

ヨハネの黙示録 20:14 に、救いを拒否した罪人の経験する「第二の死」について書いてあります。しかし、キリストは全人類を救うために死なれたのです。（ヨハネによる福音書 3:16、ヨハネの第一の手紙 2:2、4:14）

キリストは不義なるもの、罪人、敵のために死なれました。(ローマ人への手紙 5:6, 8, 10)

神はすべての人が救われるのを望んでおられます。(テモテへの第一の手紙 2:4、ペテロの第二の手紙 3:9、エペソ人への手紙 1:5)

キリストは我々すべての者のために、永遠の宝一贖いを買取られました。(ヘブル人への手紙 9:12、ローマ人への手紙 5:18)

救いと永遠の生命はイエスが我々のために準備して下さったゆえに神からの無償の賜物です。(エペソ人への手紙 2:8)

- しかし、救いは悔い改めて、神にかえり、キリストを信ずる者のみに属するものである。

悔い改めとは一われわれが罪人であり、神の律法を犯してきたことを認めることです。

信仰とは一キリストが我々のために完全に律法に服従し、我々の罪のために十字架で価を払って下さったことを受け入れ、全的にキリストに信頼することです。

律法は義を要求します。罪人はそれを満たすことができません。しかし、信仰によって、我々はイエス・キリストの生涯と死を神の前にもって行くことができます。そこで神はキリストが彼の代わりになって死んで下さったゆえに、我々の罪を赦されます。また、神はキリストの服従を罪人のものとしてごらんになるのです。これが、「その信仰を義と認められた」ということです。(ローマ人への手紙 4:5, 6, 8、エレミヤ書 23:6、ローマ人への手紙 10:4)

- 救いは信仰によって受け入れられた時、聖霊の内住をもたらし、神を愛する新しい生涯と神の律法を敬う生涯をもたらし。

(ガラテヤ人への手紙 3:13, 14、ローマ人への手紙 5:1～5、エペソ人への手紙 1:13、ヨハネによる福音書 7:38, 39、コリント人への第二の手紙 5:17、ローマ人への手紙 7:6, 22、ヨハネの第一の手紙 2:4、ガラテヤ人への手紙 5:6、詩篇 119)

● 質問

- あなたは神が救いの恵みを与えられるためにどれほどの価を払われたかという事がわかり感謝していますか？
- 罪のない救い主の上に恐ろしい刑罰がふりかかったことを考えるとき、それがあなたにふりかかる必要のないことを思って、感謝していますか？
- 罪のないイエスの生涯が、あなたをさばきの前に安全に立たしめるという確信を与えますか？



4 第四の確かなこと— あなたは来たるべき王に会うよう に定められている。

これは、クリスチャンの「祝福に満ちた望み」
(テトスへの手紙 2:13) と呼ばれています。

「彼を待ち望んでいる人々に、二度目に現れて救いを与えられるのである。」

罪人がイエスを信ずるときに、彼は救いを信仰によってのみ所有しているのです。新しい

信仰と服従の生涯に表される聖霊の賜物は、永遠の生命に至る嗣業の内金を受けたにすぎません。(エペソ人への手紙 1:13, 14、ローマ人への手紙 8:23)

今や彼はキリストが再臨なさることによってその民が栄化されるのを熱心に待ち望み、その時救いが目に見える素晴らしい所有として実現するのです。

キリストの再臨に対してクリスチャンたちがどんな態度をもっているかということほど、信仰の確実性を試すものはありません。信仰によって義とされた人は神の栄光にあずかる希望をもって喜ぶのです。(ローマ人への手紙 5:2)

● 質問

- すべて時のしるしはイエスの再臨の近いことを告げています。あなたは、あなたを救うために死んで下さった方の、み顔

を仰ぎみたい気持ちに満たされますか？

- キリストが力と栄光のうちに来られる時にあなたは生きていて主を迎える人々のグループに加わりたくありませんか？（マタイによる福音書 24:30, 31、テサロニケ人への第一の手紙 4:16, 17）
- イエスを主とし、救い主として信じ、来たるべき王にお会いするために用意することほどすばらしいことがあるでしょうか？

第二次大戦後、沖縄から本土に疎開していた人たちが大挙引き揚げることになり、名古屋の収容所に集められました。

今ニュースで見る世界各地の避難民の姿と全く同じです。そこへ、昭和天皇が戦争に荒らされた日本の各地を視察なさり、特に多大な苦痛を味わった沖縄県民を励ますために名古屋収容所にも行幸されることになりました。

各団体から 5 名の代表が選ばれて天皇陛下

に拝謁することになったのです。愛国心に燃えて、銃後を守る婦人会を指導してきた津嘉山澄は婦人代表として指名され、天皇の御前に出る特権にあずかることになりました。その時の心境を彼女は自分史に次の様に書き残しています。

「その日は風呂に入れられ、洗髪して身を清め、爪を切り、姑の着物から仕立て直した新しいモンペを借りて行くことになりました。その時の光景は決して忘れることができません。敗戦国の天皇とはいえ愛国心に燃えていた私ですから、恐れ多くて顔を上げることもできず、感激で胸がいっぱいでした。一人一人に握手をして下さり、『沖縄へ帰れるようになってよかったね、またしっかり頼みます。』と励ましのお言葉を頂いた時には、興奮のあまりガタガタ震えていました。…

すっかり落ちぶれて、惨めな姿になっている私、クリスチャンと言いながら、神様の御名さ

えも辱めているような私なのに、天皇に御言葉をかけていただくという破格の恩典に預かり、どんなに励まされたかわかりません。…小さな島国日本の、しかも敗戦国となって憔悴しておられた陛下に御会いしてさえも、震えが止まらないほど、感激したのです。まして諸王の王として、千々万々の御使いを従えて、再び私たちを迎えに来られるイエス様にお目にかかる喜びはいかばかりでしょう。」

我々のために死んでくださったお方は天地万物の造り主であられたのです（ヨハネによる福音書 1:3、コロサイ人への手紙 1:15～17）。ご自分の命を捨ててまでも我々を愛してくださった、宇宙の天皇であられたのです。

「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである」（ヨハネによる福音書 3:16）。

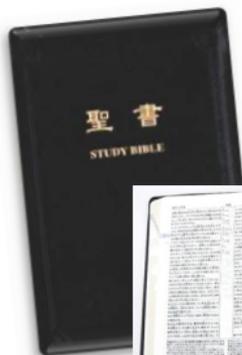
その方が我々を迎えにおいでになるのです。
間もなく！

今、この時に、キリストに属する喜びを知っ
てはいかがでしょうか？

「今は恵みの時、救いの日」今、この時にキ
リストに属する喜びを味わい知ろうではありませんか！



もっと詳しく知りたい方のために...



“スタディバイブル”



口語訳
解説付き聖書
各 10,000 円

標準型 (幅 153mm、高さ 220mm、厚さ 38mm)
余白付大型 (幅 165mm、高さ 235mm、厚さ 38mm)

難漢字ふりがな付き。上質の合成皮革。E. G. ホワイトの注解、脚注、引照付き、地図、チャート、金のりんご、聖書語句索引、口語訳聖書の標準ページを左右余白に付記。

お問い合わせ、お申込みは下記の連絡先まで

サンライズ ミニストリー

〒905-0428 沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊1471

TEL (0980) 56-2783 FAX (0980) 56-2881

contact@srministry.com www.srministry.com